

三六會又は總會

會員一同が集合して會の豫算決算の協議、會則の變更、役員の選舉等を行ひ、かねて講演會、娛樂會等を開催することを處女會大會又は處女會總會と稱してゐる。毎年一回又は二回開催するのが普通である。日今では大會だけを開く處女會が甚だ多い。中には會はあるが一度の大會さへ開かないと云ふものもある。

總會の方法に就いては自へには大なる異議がある。それは講演の外には會長が二三の報告をする位であつて會員の活動の部面がない。講演必ずしも不用ではないが講演許りで能事終れりと思つてはならぬ。寧ろ外來の講師には廿分か三十分眞に味のある所だけを話して貰つて、會員相互の活動の部面を多くせねばならぬ。演説に、討論に、音樂に、技藝競技に、運動に、娛樂に、歌劇、なんでもよい。協議以外の大部分の時間を之に費すを可とする。

總會にさへ會員の集まらぬを仰つてゐる人があるが自分は如何しても其の理由を解せぬ。集まる様な方法を講ずれば何んでもないことである。福引や出席簿點檢でやらねばならぬかと思へば情なくなる。會さへ面白くやれば福引をせぬとも千客萬來である。學校などを會場とした場合、多くの會員は會場が開く迄は大抵校庭の隅や廊下の端で一時間も二時間も立つた儘待つてゐる。これが厭な一つであらう。會館があれば結構であるが、なくても、會員が集まれば愉快にさうして氣樂になる様な設備を整へねばならぬ。或は別室に休憩所を設けるとか、簡單に展覽會を開くとか、何かしら會の用件を手傳はしめるとか云ふのでなくては平會員は手持無沙汰であつて、次回には進んで来ようと思ふものである。

補習教育が發達してゐる所では大會に對しても以上述べたやうな心配も少ないが、それでも在學生以外の會員は集まり難いものである。大會の集合を容易ならしむるの方便には種々あるが、辨當持ちで集まると云ふこと、その辨當も部落毎に共同して拵へると云ふことは興味多いことである。或は全部の會員に會より辨當を供すると云ふ事も近頃行はれてゐるが成績がよい。却つて午前中とか午後一時よりと云ふ會合よりも會員としては出席もし易く會合としての効果は勿論よいに決まつてゐる。昔の講と云ふのが割合によく行はれてゐた事は主として食事を共にした事からである。辨當が貰へるから慾で集まるのであらうと解してはならぬ。本氣でやると云ふ氣分が生ずるからである。而して食を共にする事は會員相互の親睦を圖る上にも又禮法を實習せしむる上にもその効果は甚大なるものである。食禮と稱して食は禮の基本である。紳士は食卓の禮に於て其の慣値と品位とを認めらるゝものである。今日我國の學生などが寄宿舎に於て食事を行ふことの甚だ不作法なるを見ると、食を共にせしむるの一事も單に會合の一方便のみと見るを許さない。

處女會に於ては料理講習會などが度々開かれる様であるが、それは妻として母としての準備許りではなくて、大會などの場合に直ちに處女會員としての食事に應用されるものである。お互に楽しく面白く一日を暮さうと云ふ氣分をかうした辨當料理に表はし度いものである。

會には司會者と云つて會の進行を圖るものがなくてはならぬ。司會者は一人に限らない。従來は校長とか、女教員と云ふ地位の人が、萬事をやつてゐたが、處女會の司會者は矢張處女でなくてはならぬ。多少物足らなくても指導者は蔭で働くべきである。勿論善意の指導者でなくてはならぬが、唯一の權威者であつてはならぬ。司會者が會員

以外のものである場合は丁度子供の戦争ゴッコに大人が交つて大將の役をやる様なものと處女としては興味が出ない。その結果は矢張處女會は處女自身の會ではなくて學校の事業であり先生の事業であると思ふ様になる。何でもやらして見れば苦もなく出来るもので、駄目だと思つてゐれば何時まで経つても獨立すべき秋がない。

四 處女會に備ふべき表簿

記録が明瞭でないと事業の發達を阻止することが多い。殊に會の幹部が多數異動した場合などに於て然りとする。記録は全部會員より選出したる役員で擔任することにしたい。事務所には整然たる記録棚か箱があつて誰でも見ることの出来るやうにしてゐる所があるが寔に結構なことである。

處女會として備ふべき表簿の種類は大體左の如きものであらう。其の様式に至つては別に面倒なる問題ではないが府縣又は郡市に於て一定するもよい。

- イ、會則又は内規續
- ロ、役員名簿
- ハ、會員名簿
- ニ、會員身上異動簿
- ホ、照會報告綴
- ヘ、會計に關する表簿(財産、收入、支出、豫算決算、證據書類等)

- ト、施設事業要覽(現在及び將來の計劃)
- チ、會務記録(部に分つても可なり)
- リ、學力檢定並技能認定記録
- ヌ、表彰記録
- ル、圖書、文庫に關する記録
- ヲ、會の沿革史
- ワ、會員の成績品綴及び研究成績綴
- カ、郷土資料
- ヨ、其の他

(五) 他の團體及び學校等との連絡

社會聯帶の觀念は社會教化施設に於ても極めて緊要なる基調である。從來は所謂繩張りと言ふ考へがあつて、青年會は青年會として其の施設のみに没頭し、其の範圍を廣めようとして、他の交渉を可成避けようとした。これは青年會の仕事である。だから軍人會が出過ぎては困る。道路修繕は青年會の特權であると云ふ風に各其の範圍を圍定しようとして他の團體との折衝を許さなかつた。

殊に教育の思潮が今日の如く擴められた時代に於ても、學校教育者の中には教化事業は學校が其の特權であつて

他の容喙を許さないと考へてゐるものがある。若し他の方面のものが其の實權を握ると云ふと、學校では殆んど思ひ女でも横取りされてヤケになつたと云ふやうな態度になる。由來日本人には島國根性があつて大局を洞察する高邁なる識見がない。處女會と他の團體及び官公署等との關係に就きては、叙上の思想から折角發達すべき素地のあるものも其の儘に置かれてゐるものが多い。處女會の事業の如きは決して單獨に行はるべきものではない。經費がなくて困まつてゐると云ふ事は常に聞く處であるが、他の團體及び官廳等と連絡して行ひ得る仕事を調べてゐるものは殆んどないと云ふ現状である。

一 社會教化機關の統一連繫

處女會から他の方へ連絡を執るのも必要ではあるが、それよりも根本的問題は各種教化機關が一絲亂れざる統一及び連繫を有せねばならぬ事である。少くとも一市町村内に於ては其の必要を痛切に感ずる。一市町村内の社會教化機關には其の一ヶ年間に行ふべき諸施設に、豫定があり計畫があり連繫があつて、自ら其の分野を守ると共に互に諒解し合はねばならぬ。郡、縣に於ても亦多少の計畫がなくてはならぬ。今日勸業課とか社會課とか其の他赤字社、愛國婦人會等で行へる社會教育的施設を見よ。各其の孤壘を死守して局限せる事業を經營してゐるではないか。これをまづ統一すると云ふ事が刻下の急務である。統一と云ふと直に一つの權限中に收めると云ふ様に思はれるが、さうではない。經營は各個別々であるが、夫等が凡て社會改善の大目的に合致する事を指すのである。

二 處女會の連繫を必要とする諸機關

凡ての機關が相互に相連繫を保たねばならぬことは云ふ迄もないが、これは理論として見るべきで、其の間には直接と間接との區別があり、密なると粗なるとの差異がなくてはならぬ。處女會としては如何なる機關と關係の密なるものがあるであらうか、又如何なる方法によつて之を利用した利用されねばならぬものであらうか、吾人の見る所では町村の處女會ではまづ第一に其の町村内に存する小學校であることは勿論で、其の他には青年團、戸主會、主婦會、軍人會、教育會の如き團體と、産業組合、農會、町村役場の如き自治的公共機關と僧侶、神官、警察官、教育家、醫師、篤志家等の如き人である。さうして以上は其の町村内に限つた場合であるが、更に範圍を擴めて考へて見ると上級官廳の諒解と援助とを求むることは勿論上級農會、農事試驗場、圖書館、博物館、銀行會社工場等に對しても皆相當の連絡方法を講ずるの要がある。之等は一時に手を擴げて所謂八方美人に關係を附けると云ふのではない。必要に応じて克く其の立場を明かにしてかゝらねばならぬ。

左に以上述べたる項中主要なるもの二三を選んで之と處女會との連絡方法を述べよう。

三 青年會との連絡

會員が男性であり女性であると云ふ以外には青年會も處女會も大差はない。それ故に處女會に對しては女子青年會などの名稱も出でたり、また中には女子と云ふ差別的の名稱をも削除して單に青年會とし只其の會員が女子であ

り男子であると云ふ迄であるとしたいと云ふものさへある。女子は常に從屬的に考へられ易い今日に於ては致方のないことであるが、強ひて區別を徹底しようとするのは却つて區別を認めることになるのである。それは兎も角として青年會と並んで處女會が發達せなければ眞に其の青年會も發達する譯には行かぬ。

青年會が眞面目な顔をして教練をうけてゐる。某青年大會の日である。勿論模範青年會として其の筋からも表彰せられたものである。年頃の娘達が五七人並んで、見世物興行でも見るやうな風でボカンとして口を開けて見てゐる。青年會員が時に教官の豫備少尉殿から注意をうけたり、へまな事をやると、見物の娘達は無智な様な聲を出して呵々と笑ふ。と云ふ様な場面は余輩の屢々各地に於て遭遇したことである。これでは優良青年會などとは形だけであつて眞の充實は期されない。これと反對に處女會が發達してゐても青年會が駄目であれば勿論眞面目な處女會の出来る筈がない。けれども兩者は或る期間に於て一方のみが非常なる發展をしたが爲に、他の一方を憤起せしむる場合もないではない。殊に最近に於ては青年會が寧ろ處女會の發展に促がされて更に陣容を立て直したと云ふのも比較的が多いやうに思はれる。

眞の連絡!! 青年會と處女會を連絡すると云ふ企ては數年前から所在に試みられてゐる所である。今その主なるものを左に列記しよう。

(一)、青年會の會台のある時は處女會に於て辨當を調製するとか、招待係になるとか、看護係になつて之を助勢する。處女會に會台のあつた場合にも青年會員は男子の手で行はねばならぬ様な事に關して手助をする。例へば會場の設備とか、物品の運搬とか、警備の如き仕事である。

(二)、青年會旗を處女會に於て調製寄贈するものもある。

(三)、品評會、展覽會、運動會、奉仕事業等を共同して行ふものもある。

(四)、共同旅行、青年會と處女會員とが共同して遠足旅行等を行ふものがある。これは勿論物新しい試みではない。昔時に於ける參拜旅行等は多くは男女混淆して行つたのであるが、それには親とか兄弟とか又は確かしたものが交つて居つたから間違も少かつたのである。而し青年と處女のみで、一人や二人の指導者に連れられて而も宿泊旅行をやる。何だか問題が起り易い様に思はれる。而し相當に形容を整へた會園であつては決して其の心配は無用である。心配がない許りと又單に男女を同行せしめたと云ふ新奇な企であるに留まらないで、大きく考へると、公正なる男女の交際の機會を與へた事になる。女子教育家が男女共學の可否などを再思三考してゐる中に農村ではほとんど實行してゐるから妙なものである。

(五)、講演會の共同主催は講師の選擇さへよければ面白いものである。こんな場合男女の關係が純であつて而も密であるか否かは大抵分かるものである。それはかうである。

妙に男子席との間に遠慮して空席があつたり、年の上な青年やニヤケタ様な處女が會場の兩端に慎ましいやうな顔をしてゐる處は駄目であると云つてもよい。其の外一寸心あるものが場に望めば之等の事情は直觀的に知れるものである。

(六)、補習學校に共學制を採ることはまだ多く試みてはゐないが、夜間の補習學校で男女同時に開いてゐるものは多少ある。眞に青年と處女とが理解し合つて行けばいろんな心配は無用である。何故日本人はこんなにも男女間

の關係を神經過敏に考へるのであるかと云ひたくなる。和歌山縣下の一學校では同時刻開講男女の夜間補習學校が立派な成績を擧げてゐる。さうして一里にも餘る山また山の村里から一人の青年と一人の少女が一の提灯を便に學校に通つてゐると云ふ例もある。こんなにも清いさうして純な青年男女の生活が草深き田舎にはあるのである。

例を示せば幾らもあるが、青年會と處女會の眞の連絡は其の方法でなく又形式でなく、寧ろ兩者青年期生活に於ける醇化でなくてはならぬ。個性に目醒めた青春の男女が心から其の立場を理解して其の生活を清くしようとする神々しい努力でなくてはならぬ。

青年會員が風儀の如何はしい處女會員に對して或はその父兄母姉に對して注意を與へると云ふ所もある。干渉的でなければ悪くはない。少女同盟の條に於て述べたやうに處女會が團體として一定の堅き誓を樹てると、勢ひ青年會にも之と似たやうな金が生れる。蓋し團體的に事を行ふと云ふことも、それが善い事であれば大抵は目的を達する。併し眞の効果は各個人の自覺に俟たなければならぬ。なほ(七)、施設要覽の參考中處女會施設要項(天野氏)中青年會と處女會との共同施設事項を参照せられたい。

四 主婦會及び戸主會との連絡

主婦會又は婦人會と稱して主婦を中心として組織する團體がある。婦人會中には處女會をも包含せるものがあるが茲には處女會を含まぬ意味で述べる。

主婦會と處女會との相互に連絡を保たねばならぬことは勿論である。或る場合には處女會の役員は主婦會員中より選ぶこともあるであらう。又主婦會から處女會の經費を支出することもある。殊に主婦會が會合などを開く場合に於ては處女としての務は澤山にある。それは子供を持つてゐる爲に出遊する主婦の爲には其の子供を預るとか、一家の中では母や兄嫁を會合に出す爲に處女會員が當日の家事一切を引き受けるのである。また會としては主婦會の爲に種々の準備手助をなさねばならぬ。今日に於ては寧ろ主婦會なるものは處女會の附帶事業であるかの如き感がある。勿論それは主婦會としては望ましくないが、主婦會が如何に發達を遂けても之に對する處女會員の務めは少くはならぬ。

戸主會に對する關係もまた主婦會に對する場合と同工異曲である。併しこれと青年會との如く左程直接的のものではない。町村によつては戸主會が青年會にも主婦會にもまた處女會にも經費を支出し、其の重要な行事をも定めてゐる所がある。と云つて決して其の内容にまで一々干渉するのではない。善意に之等機關の圓滿なる協調を圖つてゐるのである。これに軍人會を加へて自分は町村の五主要團體と稱したい。

五 學校との連絡

所在地小學校との連絡を要するは論なき所寧ろ凡ての教化團體は學校を中心とせなければならぬものである。この事は前來屢々述べ來つた所である。

小學校以外の學校と云へば附近に存在する高等女學校、實業學校、中學校、師範學校等である。之等の學校自體も亦進んで處女會等に對してはその指導上盡さなければならぬのであるが、會としては寧ろ自ら辭を低うして之に

依頼し助刀を乞はねばならぬ。

三八二

最近文部省の調査にかゝる「學校を中心とする社會教育施設の概況」につきて見るに之等中等學校が處女會青年會等に對する態度は漸く濃厚となりつゝあることが窺はられる。

六 官廳との連絡

氣の利いた遣り方は官廳に對して甘く交渉をしてお役人なり設備なりを利用することである。金がなくて仕事が出来ぬと云ふことはない。世人は氣の利いた遣り方と云ふことを術策を弄するとか罌丸をとるとか云つて非難するが、心から出た術策であれば、さうしてそれが單に功名を得るためでない、またそれによつて自分の欲望を満足せしめようと云ふ考でなければ、それは寧ろ獎めねばならぬ事である。才子と云はれても仕事を圓滿にやつて行けばよいと見ても差支はない。見識ぶつて上級官廳から視察者が見えても碌々に應答もせず、友達扱ひにして部下教員に自己の權威を示さうと云ふ學校長こそ、却つて局限せられた世界即ちその學校内が校下乃至は教育界だけに誇示してゐる野心家と見るべきである。自分より後から出た卒業生であるから、郡視學某を子供扱ひにすると云ふ量見のせまいものもあるが、さう云ふ學校に限つて何にも仕事は出来てゐない様である。

府縣には社會教育主事、青年團主事、視學官、視學、補習教育主事と云ふ様に直接處女會の指導者もあるに拘らず、之が利用(?)の途を知らない。却つて澤山の費用をかけて東京から所謂講習屋を呼んで来て得意がつて居るものもある。それよりは何百圓の費用があれば府縣又は郡市の機關を度々利用すればよいのである。

其の他なほ官廳には其の道の専門家もあつて、皆その利用せらるゝ事を待つてゐる。農事講習會に農業技師を招聘するとか、染色の講習には工業技師を、衛生の講習には衛生技師の出張を乞ふ事も出来る。最も府縣としても従來のやうに各部各課別々の行動を執らないで、それがたとへ多少の目的を異にしてゐても、倚つて以て地方人文の發達に寄與する事柄であれば共同して行ふべきである。さうすれば町村も勢ひ官廳を利用し依頼する様になるのである。如何なる官公署でも之と連絡して利用するの途は種々ある。税務署、警察署は勿論、郵便局、鐵道等各その事務の上より吾人日常の生活に關する問題を捉へて講話なり見學なりを行へば益する所は少くない。納税成績も極めて悪かつたある村で税務署長を招聘して婦人會に講話をして貰つたが、その講話も巧であつたらうが、怠納者がある爲にどれだけの手数をかけねばならぬかと云ふ圖解を見せられて、翌日は怠納税金が多く収まり、それから漸時納税成績が高まつたと云ふ事である。萬事は諒解である。諒解して後なほ之を行はないと云ふ者は尋常の人でない。

七 農會及び産業組合との連絡

其の連絡方案については既に施設事業中に述べたる所である。農會には帝國農會、府縣農會、郡市農會の如く農業者は連絡指導等を行つてゐる上級のものであるが、町村農會は直接當業者の福利を増進するため各種の事業を行つてゐる。講話會の如き種苗肥料の共同購入の如き、害虫驅除の如き、共同育種、育苗、飼育の如きこれである。かゝる仕事の中で、處女の手に相應はしいものは少くない。蓋し講習講話會の如きものも之と共同して行ふべきものである。

三八三

處女會としては會員をして其の見聞を廣め其の思想を修練せしむる爲にはなほ各種の方面との連絡を保たねばならぬ。軍隊の如き工場の如き銀行の如き之と如何なる方面に於て連絡を保たねばならぬかを考へるも蓋し無用の業ではない。見學、旅行遠足の便宜を得ると云ふ許りではない。社會が如何に複雑で而も有機的であるかと云ふことを體驗せしめることも出来る。

併しながら前にも述べたことであるが、各種の方面に案もなく手を擴げて連絡をとれと云ふのではない。

寧ろその連絡の案の適否にあるのである。見學旅行をした序に一寸軍隊をも窺いたと云ふのでは問題にならぬ。

産業組合に關しても前既に述べたる所であるが、將來は之を利用し之を經營するが如きは男子の手より婦人の手に移らなければならぬものであらう。男子の職業を奪ふのではなく、女子で出来る仕事は出来るだけ女子がやつて男子の勞力は他の有利な方面に向けると云ふ迄である。

(六) 指 導 者

處女會に對し指導者と稱すべきものは大體次のやうな位置の人である。

(1)、府縣社會教育主事及び青年團主事

名稱は青年團主事となつてても勿論處女會の指導にも與つてゐる。

(2)、郡市の社會教育主事

(3)、視學

(4)、小學校長及び教員特に女教員

(5)、篤志婦人其他顧問の地位に在る篤志家

(6)、會員中の幹部

右に就き町村單位の處女會に對し直接指導の任に當らねばならぬのは、小學校長及び教員である。其他第五項の篤志婦人等も重要な地位にあるものであるから以上二項に就きて其の態度及び任務等に關し述べよう。

一 指導者としての小學校長及び教員

町村處女會指導者として小學校長が重要な地位にあるは素より論ずるまでもない。今日に於ける地方の狀況では青年團も處女會も乃至は町村の自治もその成績の大半は優良にして徳望を有する小學校長の有無に期するのである。勤績が長ければ長い程徳望も高まつて行くと同時に町村の事情にも精通して各教化施設の如きものが徹底するやうになる。併しながら所謂有徳の君子然たる小學校長をして長く一定の地に留まらしむる事の出来ない様な時代になつて來た。それは能率問題が叫ばれたり智能偏重の教育思潮の爲に、一定の所に永く留まつてゐる教員は何だか目新しい事業が出来ぬやうに思はれると云ふ考が生れて來た。近年郡視學など云ふものも一つは若手の者を探用するに至つて、その腕ためしと云ふ立場から「千人切り」でもするやうな考から、大頭株の校長を首にすることを

功名のやうに云つてゐる。勿論老朽者もあるが、大體小學校長の職は徳望家でなくては出来ぬ仕事であるから、片たる若年の才子では勤まらぬものである。郡視學が自分の方寸に従はしめようとして、若いもの許りを採用するの傾きがあるのは誠に教育界の爲に考ふべき問題である。それはさうとして處女會の指導者の隨一として小學校長を挙げねばならぬが、それが若い人であつては多少の危懼もないではない。第一父兄から安んじてその子妹を委ねるかどうかが問題である。そんな事を心配して居ては新時代の處女會は生れないと考へる人もあらうが、指導者は相當年のとつたさうして時代を見るの明のある人でなくてはならぬ。老人と云ふこと、思想の新舊と云ふこと、は關係がないと見ねばならぬが、時には之を裏切る例も少くないので、今日の時代では老人と云へば舊思想で固つてゐるものと斷言してゐるやうになつたのである。これは青年のものも考へねばならぬことである。

小學校長の年のとつたものは兎角、心配し過ぎてならぬものである。見識も學問も或は若い教員には及ばぬものが多い。其の爲に何か新しいさうして確かりした事業をやらうとなると兎角躊躇する。萬事事なかれ主義となり易い。處女と云ふ人生では貴重なさうして一分一秒もクダラヌ事でも過させるのは惜しいやうな生活價值のある時代のもの、心理を知らないで、良妻賢母主義の面も、無味乾燥な施設を以て之に對さうとするものもある。

學校で一年に一回か二回か開く大會にお行儀よくやつてゐれば、處女會は成績がよいと考へてゐたりするものも多い。又風儀の改善だと云つてお白粉をつけてはならぬと定めてゐる所もある。それでも二三年の間に漸く禁が破れて來ると、遂には校長先生も我を折つて「處女會の會合は木綿衣のこと、お白粉をつけぬこと」と訂正する所もある。克己、禁欲を眞向にわざしてゐる清教徒のやうな説は今日の處女に喜ばれないことを承知せねばならぬ。

學校長は處女會員の動靜に就いては委細に承知してゐねばならぬ。これは寧ろ卒業生指導と云ふ立場からであるが、卒業生取調簿の如きものも徒に形式を整へることのみに苦心しないで、眞實に其の個人の事情を知るに足るやうに作ることが大切である。文部省より大正十年選置せられた兵庫縣城崎郡長井村處女會の如きは單に處在の會員を指導するのみでなく、小學校長は阪神地方に出稼せる女子の爲に、或はその雇主に對して常に行届いた交渉をなし、又會員との通信をなすために雜誌を發行したりなどして、親子も及ばぬやうな厚き指導をなしてゐる。

性教育の叫ばれる時代である。處女會は其の年齢から云へば凡てが性教育の時代であると云つてもよい。感情も意志も、智能も、乃至は其の身體の變化も性と云ふことによつて其の變化を左右する、ことの最も多い時である。それ故戀愛の問題もデリケートに取扱はねばならぬ。さう云ふ重い任務は誰が果し得るか、云ふまでなく小學校長及び女教員でなくてはならぬ。戀愛を度外視して乃至性教育を雲煙過雁視して、講習講話、生活改善、會員信條の徹底、風紀改善などと鹿爪ラシイお題目を唱へても、それは大した利益はない。小學校長の任務は單に男女間の關係を清くして問題を起さぬ、青年處女の間には艶書の変換もない、極めて風紀がよい、と云ふやうに、事によれば、兩性であるべき人を、單性の生物にでも退化させたかの如き状態を以て満足すべきではない。進んでは町村の青年處女をして好配を得しめ、氣の利いた月下氷人となると云ふのでなくてはならぬ。風紀を改善して如何にするか、結婚は矢張、相互に理解も愛もない見合結婚で満足せしむると云ふのでは新時代の處女を指導するの器でない。小學校長に次いで、主要なる地位をしむるものは、女教師である。處女會だから男子教員を排斥すると云ふのではない。

男子の教員として指導者として不都合はないが、校長が當面の責任者である以上は之を助けねばならぬが、他に青年會もあり、處女會に力を盡すよりも之に盡さねばならぬと云ふまでである。事實今日女教員が處女會に對して盡力してゐるものが多いが、其の便宜な點は、同性であつてよく其の心理も生理も諒解してゐる所に在るのである。されど女教師生活と云ふ境遇が生む通有性が假りにありとすれば、それは、一般的發展を遂げしめねばならぬ處女會の指導者としては不適當な點である。かく云ふ事さへ知つて居て之が指導に當ればよい。自分は全然信するものではないが、今日の小學女教師中には少くとも其の最割かは獨身主義を執つてゐるものがある。そつ云ふ人が自分の主義のやうに化さうと試みられては大變である。また職業婦人としての女教師は其の下宿生活でも一般の家庭婦人の如く整頓をやらない。そんな風に女を仕上げられては困ると云ふやうな非難も耳にしないことはない。特に女子は直覺的獨斷的であつて見識も廣くないと云ふ性があるので、處女會を指導するにしても動もすれば所謂型の小さいものにする虞がある。斯う云ふ點は小學校長などの意見に聞かねばならぬ。成績を挙げると云ふ事に苦慮するの餘り展覽會を開いても形式を重んじ過ぎたり、甚しきは成績品を自分が代作するとか、むやみに加力すると云ふものがある。之は稀有の例であるが、「尋常三年生の裁縫成績品に到底技藝學校の生徒も及ばぬ程度の單衣物が而も全級生揃つて出品されてゐるなど」の事も自分が目撃した事實である。丁度生花の陳列會のやうなものである。斯う云ふ事は却つて處女會の目的にも反するもので、指導者としては慎まねばならぬ點である。

女子はまた好惡の情が可なり熾烈なものである。ツマリ、アノ人は好きだとか、コノ人は嫌いだとか云ふやうな一般的感情に支配され易いものである。見學旅行をするにしても、會員中の二三のものと好んで交るが、自分の嫌

いなものには見向きもしないと云ふことがある。會員もまた先生の好き嫌ひをする事になつて、折角の旅行が却つて會としては黨中黨を樹てしめることになつて來る例がある。要するに女教員が處女會の指導者として適當であると云ふことは絶體無條件ではなくて、缺點も短所もあるのであるから、之等は指導者たるべきものの深く考へねばならぬ所である。自己を知ると云ふ事は今も昔も人の師表に立つものゝ心得べき點である。

女教師は處女會の事業を遂行する上に於ては必要なる知識と技能とを有してゐる。例へば料理、裁縫、家政、衛生、娛樂等である。男教師の中にも、料理や裁縫に堪能なものもあるが、これは例外である。女教師の其の素養は學校教師としては十分ではあらうが、處女會の指導者としては必ずしも十分とは云へない。向上を希望せぬ會であつて小學校教育の復習位で満足すれば兎に角、今後の處女會として發展向上を其のモットーとせねばならぬものに在つては、小學校女教師の學力及び技能では貧弱であると云はねばならぬ。殊にその實科的技能に於ては指導の地位に立つには餘りに不熟練で生硬であると云はねばならぬ。

二 指導者としての篤志婦人

篤志なる婦人があつて其の町村處女會を指導すれば成績のよくなるのは勿論のことである。未婚の老女は凡て、ステリー患者であると稱するものもあるが、所謂篤志婦人には偏した性格を有するものもあつて、時としては會の圓滿なる發達を阻止するかの如き惧がないでもない。併しながら、之は篤志家の篤志家たる所以である。圓滿に發達した人は多くは熱がなくて創設期の處女會に對しては却つて其の發展を妨ぐるものである。而して又、ある類の人

は他の業務に追はれて處女會などを省る閑がないものである。それ故少しは偏してゐても、献身的に處女會員の侶伴としてその生ひ立ちを助けようと云ふ熱もあり、涙も多い人、殊に婦人があると云ふことは會としては寔に歓迎すべきことである。文部省より第一回に選奨をうけた富山縣上新川郡大久保町保育婦女會の如きは、會長たる吉山タカ子氏は勿論副會長たる鹽野美代子氏の如き篤志婦人の力によるところが多いやうである。之等の篤志婦人は女教師の如く轉任と云ふことがないから、指導者としては非常に好ましいものである。

地方には今尚ほお針屋と稱する裁縫教授所があるが、時代と共に其の内容形式を改善するの必要はあるが、之を強制的に廢して公立の女子補習學校などにせねばならぬと云ふものでもない。かゝる教授所には篤志な婦人もあつて處女會の指導者としては勿論地方風教に干つて力あるものが多い。所謂第三教育と稱するものはかゝる所に於てよく行はれるものである。

二人以上の篤志婦人がある場合には時として意見が合はず會の發展を妨げる場合がある。其の場合には小學校長などが甘く調和せしめるやうに努力せねばならぬ。

篤志家とは單に官職を帯びない人の中で處女會に對して興味を有する人と云ふのではない。警察官などで直接に教化と云ふことに關係の少い者でも、亦其の町村に在住する官吏とか軍人とか云ふものでも中には非常なる努力をなし之に貢献してゐる人も多いのである。前にも屢々述べたるが如く、指導者は各種の方面に求めねばならぬ。さうして各其の長所を以て、會員に對し親切なる輔導を與へねばならぬ。學校教育者や、一、二の篤志婦人が繩張をなし、我物顔に骨董品でも取扱ふやうな考へで處女會を私すべきものではない。

(七) 施設要覽

處女會を經營するには其の施設を組織的に定め會員には勿論廣く一般の諒解を求めなければならぬ。施設概要又は施設要覽と稱するものゝ必要なるは又言を待たない所である。併し形式だけが立派に出来ても實施が之に伴はなければ何にもならぬ。それ故施設要覽は餘りに架空なものであつてはならぬが、一面から云ふと凡ての事業は組織的で計画的たるを要するので相當に工夫されたる案を作ることと必要とする。左は施設要覽と目すべきもの及び各地處女會の施設事業一覽である。調査は大部分文部省及び内務省の報告によつたものであるが、最後に故天野氏の手になつた要覽を附することゝした。凡てに涉つて概評すると新時代に適應した清新味が出てゐないと云つてよい。

◎ 岡山縣有漢處女會施設概覽

一、知育

甲、學藝の部

- (1) 實業補習教育 (2) 會誌ノ發刊 (3) 新聞雜誌ノ講讀 (4) 讀書會 (5) 講演會 (6) 講習會 (7) 巡回文庫 (8) 圖書館 (9) 學力調査 (10) 觀察 (11) 講習會派遣 (12) 研究會 (13) 娛樂ノ研究 (14) トラホーム研究 (15) 金銭使用研究會 (16) 副業ノ研究 (17) 學藝會 (18) 成績品展覽會

乙、實業の部

- (1) 試作 (2) 養蠶 (3) 廢物利用 (4) 洗濯法實習 (5) 家事實習 (6) 料理法研究 (7) 試食會 (8) 農事改良 (9) 農產物品評會 (10) 雜蠶共同飼育 (11) 生花講習 (12) 作法ノ實習 (13) 按摩實習 (14) 裁縫講習 (15) 看護法講習 (16) 宅地利用

二、德育

甲、修養部

- (1) 風紀振肅 (2) 徳性涵養 (3) 三大節逸拜式 (4) 表彰 (5) 時間勵行 (6) 敬老會 (7) 綿衣獎勵 (8) 一日一善 (6) 一事貫行 (10) 精神講話 (11) 朝起勵行 (12) 日誌記載 (13) 作法會

乙、勤儉貯蓄

- (1) 規約貯金 (2) 信用組合ノ加入 (3) 共同事業ノ利益積立 (4) 勤勞貯金

三、體育娛樂

春季

- (1) 運動會 (2) 敬老會 (3) 御田植祭 (4) 社寺巡拜——皇大神宮參拜 (5) 視察旅行 (6) 徒歩旅行 (7) 身體検査

夏季

- (1) 乃木會 (九月十三日) (2) 登山會 (3) 日ノ出會 (4) 村内一週旅行

秋季

- (1) 體育會 (2) 視察旅行 (3) 社寺巡拜 (4) 徒歩旅行 (5) 各種品評會 (6) 試食會 (7) 料理講習 (8) 登山會

冬季

- (1) 義士會 (2) 修養會 (3) 品評會——農產物 副菜品 (4) 展覽會——手藝品、廢物利用ノ簡易器具 (5) 學藝テ1 (6) 娛樂テ1 (7) 裁縫競技會 (8) 讀書會 (9) 農事講習 (10) 結髮會

體育

- (1) 體育會 (2) 運動會 (3) 體格検査 (4) 遠足 (5) 登山會 (6) 早起會 (7) 冷水摩擦 (8) 一品持チ寄リ試食會 (6) 常議かるた會 (10) 蓄音機

四、處女會檢閲

- (一) 教育點呼 (二) 學力試験 (三) 身體検査 (四) 處女手際 (五) 模範處女表彰 (六) 入會式及ヒ宣誓 (七) 結婚退會式

◎ 富山縣大久保町保育婦女會正會員指導草案

| 月日 | 目 | 第一期 | 第二期 | 第三期 | 第四期 | 備考 |
|-------|----|--------------------------------|------------|-------------|------------|----|
| 四月十五日 | 總會 | 協議、表彰、講話、攝影、談話、演奏會、會則訓令ノ徹底、餘興、 | 同上 | 同上 | 同上 | |
| 五月一日 | 修養 | 1、住居ノ目的、居 | 2、戸締火ノ用心、居 | 5、石鹼洗及灰汁洗、居 | 7、諸器具雜具ノ、居 | |
| 一日 | 實習 | 2、修理、保存(主トシテ、臺所ニツイテ) | 4、掃除、 | 6、疊、建具ノ手入 | 手入 | |
| | | 座拂ノ作り方 | 紙ノ繼ギ方 | 障子ノ張リ方 | タワシノ作り方 | |

| 二 月 (日) | | 一 月 (日十二) | | 二 月 (日十二) | | 三 月 (日) | |
|---------------|-----------|-----------------|-----------|-----------------|-----------|---------------|-----------|
| 實 習 | 修 養 | 實 習 | 修 養 | 實 習 | 修 養 | 實 習 | 修 養 |
| 1 家庭ノ管理 | 1 善良ナル家 | 1 家庭ノ管理 | 1 善良ナル家 | 1 家庭ノ管理 | 1 善良ナル家 | 1 家庭ノ管理 | 1 善良ナル家 |
| 2 同上 | 2 主婦ノ心得 | 2 同上 | 2 主婦ノ心得 | 2 同上 | 2 主婦ノ心得 | 2 同上 | 2 主婦ノ心得 |
| 3 同上 | 3 家事ノ心得 | 3 同上 | 3 家事ノ心得 | 3 同上 | 3 家事ノ心得 | 3 同上 | 3 家事ノ心得 |
| 4 同上 | 4 貯蓄及保險 | 4 同上 | 4 貯蓄及保險 | 4 同上 | 4 貯蓄及保險 | 4 同上 | 4 貯蓄及保險 |
| 5 同上 | 5 節儉 | 5 同上 | 5 節儉 | 5 同上 | 5 節儉 | 5 同上 | 5 節儉 |
| 6 同上 | 6 必要簿記ノ | 6 同上 | 6 必要簿記ノ | 6 同上 | 6 必要簿記ノ | 6 同上 | 6 必要簿記ノ |
| 7 同上 | 7 簿記法 | 7 同上 | 7 簿記法 | 7 同上 | 7 簿記法 | 7 同上 | 7 簿記法 |
| 8 同上 | 8 四方拜(一日) | 8 同上 | 8 四方拜(一日) | 8 同上 | 8 四方拜(一日) | 8 同上 | 8 四方拜(一日) |
| 9 同上 | 9 式ヲアゲ後會 | 9 同上 | 9 式ヲアゲ後會 | 9 同上 | 9 式ヲアゲ後會 | 9 同上 | 9 式ヲアゲ後會 |
| 10 同上 | 10 員ノ年頭ニ於 | 10 同上 | 10 員ノ年頭ニ於 | 10 同上 | 10 員ノ年頭ニ於 | 10 同上 | 10 員ノ年頭ニ於 |
| 11 同上 | 11 ケル所感發表 | 11 同上 | 11 ケル所感發表 | 11 同上 | 11 ケル所感發表 | 11 同上 | 11 ケル所感發表 |
| 12 同上 | 12 會ヲ開クコト | 12 同上 | 12 會ヲ開クコト | 12 同上 | 12 會ヲ開クコト | 12 同上 | 12 會ヲ開クコト |
| 13 同上 | 13 紀元節(十一 | 13 同上 | 13 紀元節(十一 | 13 同上 | 13 紀元節(十一 | 13 同上 | 13 紀元節(十一 |
| 14 同上 | 14 日)拜賀式ヲ | 14 同上 | 14 日)拜賀式ヲ | 14 同上 | 14 日)拜賀式ヲ | 14 同上 | 14 日)拜賀式ヲ |
| 15 同上 | 15 アゲ國家的觀 | 15 同上 | 15 アゲ國家的觀 | 15 同上 | 15 アゲ國家的觀 | 15 同上 | 15 アゲ國家的觀 |
| 16 同上 | 16 スル講義ニ關 | 16 同上 | 16 スル講義ニ關 | 16 同上 | 16 スル講義ニ關 | 16 同上 | 16 スル講義ニ關 |
| 17 同上 | 17 議打合テナス | 17 同上 | 17 議打合テナス | 17 同上 | 17 議打合テナス | 17 同上 | 17 議打合テナス |
| 18 同上 | 18 コトアリ | 18 同上 | 18 コトアリ | 18 同上 | 18 コトアリ | 18 同上 | 18 コトアリ |
| 19 同上 | 19 裁學用品入 | 19 同上 | 19 裁學用品入 | 19 同上 | 19 裁學用品入 | 19 同上 | 19 裁學用品入 |
| 20 同上 | 20 裁方及縫方 | 20 同上 | 20 裁方及縫方 | 20 同上 | 20 裁方及縫方 | 20 同上 | 20 裁方及縫方 |
| 21 同上 | 21 裁方及縫方 | 21 同上 | 21 裁方及縫方 | 21 同上 | 21 裁方及縫方 | 21 同上 | 21 裁方及縫方 |
| 22 同上 | 22 裁方及縫方 | 22 同上 | 22 裁方及縫方 | 22 同上 | 22 裁方及縫方 | 22 同上 | 22 裁方及縫方 |
| 23 同上 | 23 裁方及縫方 | 23 同上 | 23 裁方及縫方 | 23 同上 | 23 裁方及縫方 | 23 同上 | 23 裁方及縫方 |
| 24 同上 | 24 裁方及縫方 | 24 同上 | 24 裁方及縫方 | 24 同上 | 24 裁方及縫方 | 24 同上 | 24 裁方及縫方 |
| 25 同上 | 25 裁方及縫方 | 25 同上 | 25 裁方及縫方 | 25 同上 | 25 裁方及縫方 | 25 同上 | 25 裁方及縫方 |
| 26 同上 | 26 裁方及縫方 | 26 同上 | 26 裁方及縫方 | 26 同上 | 26 裁方及縫方 | 26 同上 | 26 裁方及縫方 |
| 27 同上 | 27 裁方及縫方 | 27 同上 | 27 裁方及縫方 | 27 同上 | 27 裁方及縫方 | 27 同上 | 27 裁方及縫方 |
| 28 同上 | 28 裁方及縫方 | 28 同上 | 28 裁方及縫方 | 28 同上 | 28 裁方及縫方 | 28 同上 | 28 裁方及縫方 |
| 29 同上 | 29 裁方及縫方 | 29 同上 | 29 裁方及縫方 | 29 同上 | 29 裁方及縫方 | 29 同上 | 29 裁方及縫方 |
| 30 同上 | 30 裁方及縫方 | 30 同上 | 30 裁方及縫方 | 30 同上 | 30 裁方及縫方 | 30 同上 | 30 裁方及縫方 |
| 31 同上 | 31 裁方及縫方 | 31 同上 | 31 裁方及縫方 | 31 同上 | 31 裁方及縫方 | 31 同上 | 31 裁方及縫方 |

●向ホ他ノ團體ト聯合シテ講話會ナドヲ催スコトアリ

六、 郡市聯合處女會及び府縣聯合處女會

町村處女會(市にあつては之に相當するもの)の發達が或る程度まで進むと、一郡市を範圍として聯合處女會が組織せられ、更に進んで府縣聯合處女會が組織せらるべきである。今日に於ては郡を範圍とするものは大分設置されてゐるが、府縣を範圍とするものは殆んどない。

一 郡市聯合處女會

郡市聯合處女會は同一郡市内に於ける町村處女會又は之に類する處女團體の聯合組織であつて、會員は直接に屬せないで單位は町村處女會(之に準すべきものを含む以下同じ)である。故に聯合會に對しては町村處女會が同等に發言權も決議權も有すると共に經費及び其の他負擔に對する義務をも有する。

郡市聯合處女會の經費は大部分市郡の補助金で支辨してゐる。その結果は會長とか幹部は多く郡長郡視學郡社會教育主事郡書記等で占められ、實權もまた之等の人々によりて握られてゐる。別に官僚式と攻撃するのではないが、役員の大半は一般婦人又は町村處女會員より選出することにしたものである。會長が郡長でないから郡費の補助が出せると非難されたり、郡長さんが大酒飲みで白晝藝妓と手を引いて調歩するので、處女會員が排斥決議書をつき付けるなどの喜劇は一日も早くなくなつたものである。

郡市處女會の事業は凡そ次の如きものであらう。猶前既に施設の各項中に述べた所のものを之に適用することが

出来る。

四〇〇

- イ、所屬處女會幹部の養成(講習會、幹部會、見學等)
- ロ、巡回文庫
- ハ、巡回講演會及び巡回活動寫真會等
- ニ、總會(協議、意見發表、討論、講演競技等)
- ホ、展覽會
- ヘ、品評會
- ト、學力檢定及び技能認定
- チ、通信教育材料及び教科書の編纂
- リ、講習會
- ヌ、指導者及び講師の設置
- ル、會誌の編纂
- ヲ、各種の宣傳
- ワ、表彰(會及び會員)
- カ、社會奉仕慈善救濟事業
- ヨ、共同販賣(手藝品副業品等)及び共同利用

- タ、處女會館の設置(特に市)
- レ、運動會
- ソ、其他各種の研究調査及び連絡統一

二 府縣聯合處女會

矢張郡市聯合處女會の聯合によつて成立するものである。其の事業も大體前に準じて更に連絡統一するの要あるものを選びよ。雜誌の如きも同一府縣内では共通なものでもよいから府縣聯合處女會が出来れば郡市のもは止めてもよい。教科書の編纂の如きもそれである。而して府縣聯合處女會に於ては適當なる指導者をおくか又は社會教育主事が之を兼務することにした。中等學校を利用して處女會の進興を圖るなどの企も府縣當局者と府縣聯合處女會と協調して行ふべきである。愛國婦人會の府縣支部などは恰も府縣聯合處女會のやうな事業を爲すには適當であるがまだその企てがない。併し矢張聯合の形式で箇々の處女箇々の團體から出來たものでなければ眞の修養團體とはなり得ない。

七、處女會振興策

一般女子教育の發達振興を期すると共に女性に對する教化修養團體を保護し誘導し其の振展を圖るは刻下の急務である。素より其の振興の方策には多々あつて殆んど今日に於ては其の方策に關する大體の目標がついてゐるけれども、未だ之を實施するに至らないのである。文化政策を徹底的に行はんとすれば之位の問題は何でもないことであるが、國力の微弱は容易に之に徹底した解決を與へ得ない。

處女會を振興せしむるに就き最も適切なる施設如何と云ふ文部省諮問案に對する第一回社會教育主事會議（大正十年十月）の答申は左の通りである。各府縣等に於ても此の種の研究調査をなしてゐるが大同小異の成案である。

◎ 處女會振興に關し最も適切なる施設答申事項

- 一、郡市町村に社會教育專任指導者を設置し處女會指導に當らしめ尙成るべく婦人の專任指導者をも設置すること
- 一、會員幹部及び處女會指導者の養成講習會を開催すること
- 一、市町村吏員、教育家、宗教家、其他名望家篤志家等を顧問とすること
- 一、政府に於て處女會に關する訓令並に設置標準を示され府縣に於て地方の實情に應じたる處女會設置要項を指示すること
- 一、府縣及び市町村に於て處女會に對し補助金を支出すること
- 一、師範學校高等女學校等の上級生に處女會指導に關する觀念を與ふること

- 一、集會の場所の選定に注意し且其の内容を日常生活に適應せしむること
 - 一、處女會の組織は成るべく市町村を單位とすべきも時宜によつては工場會社其他職業別に組織すること
 - 一、優良處女會並に處女會指導者を表彰し其の事績を一般に周知せしむること
 - 一、府縣に於て會員に適切なる讀物を編纂し又は紹介すること
 - 一、左の如き事業を行ふこと
 - イ、智徳及び體育衛生ニ關スル講話會
 - ロ、料理、裁縫、作法、育兒、看護、副業、家政、手藝等ニ關スル講話會講習會
 - ハ、補習教育ノ施設及ビ獎勵
 - ニ、製作品其ノ他ノ展覽會
 - ホ、圖書ノ購讀、文庫ノ設置、雜誌ノ發行
 - ヘ、風紀改善、生活改善、敬老、慈善、其ノ他社會奉仕ニ關スル事項
 - ト、高尚ナル娛樂
 - チ、見學旅行、遠足、運動
 - 其ノ他必要ナル事項
- 左に處女會振興策を四つの方面より見て述べることにする。

(一) 國家及び府縣郡市の執るべき策

一 國家の執るべき策

從來青年團に對して政府の執り來りし方針は明瞭であつて、文部内務兩省からは數次の訓令をも發し、指導上各種の施設をもなし來たつた。然るに女子の團體に對しては漸く近年に於て手を初めた位に過ぎない。尤も總體的には文部省に於て社會教育並に補習教育の振興に對して相當の施設があつたのである。今日では女子實業教育殊に補習教育の如きは明かに法令の中にも加へられ、殆んど制度から云へば海外にも例を見ない程になつたのである。

將來に處女會に對して國家は相當の經費を支出するは勿論、適當なる指導研究の施設をなし、進んで其の振興策勵の爲に訓令の發布、指導者の設置、處女會員に對する讀物の調査編纂、娛樂の改善、體育設備の普及並に處女會指導者の養成等に力を致されたいものである。

今日に於ても文部省に於ては讀物の調査、處女會の表彰、處女會指導機關に對する補助等をやつてゐるが、甚だ微々たるものである。

今左に文部省に於て大正十年及大正十二年表彰したる處女會の名稱を掲げる。

上段大正十年十一月表彰
下段大正十二年三月表彰

- 一、兵庫縣城崎郡長井村處女會
- 一、静岡縣駿東郡印野村處女會

- 一、埼玉縣入間郡堀兼村處女會
- 一、群馬縣北甘樂郡丹生村處女會

- 一、奈良縣宇陀郡神戸村本郷婦人會
- 一、宮城縣名取郡下増田村處女會
- 一、山梨縣南都留郡鳴澤婦人會
- 一、富山縣上新川郡大久保町保育婦女會
- 一、岡山縣上房郡有漢村處女會
- 一、愛媛縣北宇和郡三島處女會

- 一、福島縣河沼郡勝常村處女會
- 一、富山縣射水郡大島村婦女會
- 一、鳥取縣日野郡江尾村處女會
- 一、山口縣美禰郡眞長田村處女會
- 一、大分縣下毛郡眞坂村處女會

二 府縣の執るべき策

府縣に於ては從來は矢張青年會に對してのみ力をそそぎ處女會に對しては餘りに注意を拂はなかつたのであるが、最近二三年間に於ては大に之に着目するに至つた。大抵大正十年以降に於て處女會に對する訓令、綱領、指導方針の類を發布し青年團と共に其の事業を發達せしめんとしてゐる。今其の訓令等の内容を見るに殆んど大同小異であつて、等しく時勢の進運と女子修養の必要に着眼し、女子をして單に一箇の良妻賢母たらしむる以外に完全なる人としての教養をなさんとしてゐる。而して戰亂中及びその前後の歐洲に於ける婦人の働きを見て我國婦人の覺醒を叫んでゐる點に於て同巧異曲であるが、未だ平和の時代に於ける婦人の地位を見ないかの憾がある。更に進んで批評せば婦人を見て處女を見ないものが多いとも評し得るのである。處女を處女として見る所にその教養法が生れ訓練法が適應せねばならぬと云ふことに言及したものは極めて少ない。

◎ 優良處女會團體名（内務省刊行「處女會及び婦人團體の概況」による）

埼玉縣 北足立郡大久保村女子同窓會
 同 入間郡豐岡町豐岡處女會
 同 兒玉郡金屋村處女會
 群馬縣 利根郡白澤村白澤娘會

群馬縣 邑樂郡小泉町松操會
 千葉縣 東葛飾郡明村上本郷小學校處女會
 同 長生郡土睦村處女會
 同 長生郡長柄村處女會
 茨城縣 久慈郡天下野尋常高等小學校同窓會女子部
 同 稻敷郡阿見村處女會
 同 新治郡安飾村處女會
 同 筑波郡谷田部町處女會
 同 猿島郡新郷村處女會
 栃木縣 赤見村大字出流桑寺久保ノ二區淑女會
 奈良縣 添上郡田原村處女會
 三重縣 鈴鹿郡關町處女會
 同 郡石染師村處女會
 同 多氣郡明星村明星處女會
 同 阿山郡西折植村處女會
 同 志摩郡御座村處女會
 愛知縣 北設樂郡武節村大字小田木處女會

愛知縣 碧海郡六ツ美村六ツ美處女會
 靜岡縣 駿東郡印野村處女會
 同 富士郡岩松村處女會
 同 庵原郡庵原村處女會
 同 志太郡東益津村處女會
 山梨縣 北都留郡巖村澤松處女會
 滋賀縣 蒲生郡金田村處女會
 宮城縣 伊具郡小齊村處女會
 同 郡西根村萱正四會
 巖手縣 和賀郡江釣子處女會
 山形縣 西田川郡念球關村大岩川女子會
 富山縣 下新川郡下中島村處女會
 同 郡新屋村處女會
 同 郡檜山村處女會
 同 婦負郡池田同窓會
 同 射水郡伏木町處女會
 同 郡片口村處女會

富山縣 射水郡下村處女會
 同 郡大島村處女會
 同 郡老田村處女會
 岡山縣 上房郡有漢村處女會
 同 勝田郡豐田村處女會
 廣島縣 安藝郡江田島村切串處女會
 同 加茂郡志和堀村處女會
 同 世羅郡吉川村北部處女會
 同 沼隈郡千年村能登原處女會
 同 神石郡仙養村醇原處女會
 同 甲奴郡甲奴村處女會
 同 郡領家村處女會
 山口縣 吉敷郡吉敷村處女會
 香川縣 綾歌郡川西村處女會
 同 仲多度郡垂水村處女會
 同 三豐郡粟井村處女會
 大分縣 西國東郡高田町桂陽處女會

大分縣 日田郡五和村三春原一味會
 熊本縣 宇土郡戸馳村處女會
 宮崎縣 東臼杵郡伊形村土々呂處女會
 鹿兒島縣 川邊郡東南方村露出處女會
 以上 六十團體

三 郡市の執るべき策

從來郡に於て訓令通牒等によつて町村處女會の發達を策してゐたものも多かつたが、府縣に於て統一する様になつては此の種の施設は廢さるゝことゝなつた。併し郡市社會教育主事の設置も漸く普く實際指導に就きては餘程改善さるゝに至つた。幹部養成施設に就きて述べた通り、郡に於て之を行つてゐるものは其の効果も大に擧つてゐる。郡市の施設はやがて郡市聯合處女會の施設と合同又は交錯する。將來郡と云ふ自治體が廢止された後に於ては當然其の事務は府縣に於て引續ぐべき筈であるが、一時は郡處女會等も一頓挫を來たすかも知れぬ。殊に補習教育の特殊なるものが郡で經營せられてゐたものであるが、之等は府縣で統一されると特色を減却したり又は廢止されるであらう。併し府縣より相當の補助を與へ又は郡有財産を之等團體基本財産として分配することにすれば自營されぬ事もない。

(二) 社會より見たる處女會

「處女會と云ふ厄介なものが出來てこの忙しい時に年盛りの娘を遊ばせては困まる」と云ふ聲は時に農村に於て聞く許りでなく、都市に於てはこれ以上に處女會などは眼中におかないと云ふ有様である。都市に於ける下女とか雇女とか云ふ類を以て會を組織することは徒弟や小僧を以て組織することよりも困難である。婦人の文化運動に奔走してゐる有識の女でも其の下女は年中勝手元と風呂場とを往復せしめてゐる。藪入は矢張之等少年少女に對する破天荒の安息日である。都市に於ては自家の女妹に對しても中流以下では會合などに出席せしめない。之は一つは職業や富や財産や地位に對し餘りにマザクしい懸隔があるからである。田舎では村長さんのお嬢さんと小作の娘との間にそんなに飛び離れた隔りが無い。事によると小作の娘は女工にでも行つてお金を儲けて來ると立派な流行衣裝をして村長さんや大家さんのお嬢さん達を羨望せしめるかも知れぬ位である。併し郡鄙いづれに於ても女性に對する社會の諒解は甚だ薄いものである。

社會をして處女會の必要を知らしめ其の助成に努めしめるは容易のことではないが、種々の機會を利用して其の趣旨や内容を宣傳することが大切である。殊に一般婦人の諒解を得なければならぬ。處女會に於ける展覽會とか講習會、講演會等に於て婦人の參加を求めるともよい。功利的ではあるが處女會に於ける實習會などの成績品を以て一般民衆に販賣するとか試食せしむるとかして處女會の價値を知らしむるもよい。餘りに振興の爲に策を弄することはよくないが拙策又は無策であつてはならぬ。

社會奉仕事業なども或る場合には處女會の價値を知らしむることになるが、之も餘り現金的であつてはならぬ。處女會を以て補習學校と同一體のものであると見ると、茲に町村處女會に於ては補習教育後援會などの助を借ることゝも大切である。個人の諒解を求めるよりも團體としての援助を求める方が安全であつて且非難が少ない。又有識者の間に於て處女會を振興せしむるために團體を作ることゝも必要である。日本に於ては左に述べる處女會中央部の外に之に關する會團が殆んどない。

◎ 處女會中央部

處女會の指導連絡の機關として處女會中央部が故天野藤男氏等によつて創立せられ、現今では内務文部兩省より補助を受け、大正十年及び同十一年に於ては幹部講習會を開催して相當の成績を收めてゐる。中央部は機關誌「處女の友」を發行し又地方處女會に對して講師の紹介をなしてゐる。現在は理事制度で山脇房子氏が理事長であつて女流教育家の有數なるものが其の理事又は評議員である。併し其の資金が乏しいので大なる活動をなし得ない。

(三) 學校中心社會教育と處女會

町村處女會に在りては其の町村に於ける小學校と連絡して其の事業を行ふべき必要あるは前既に述べた次第である。併しながらまた學校は學校の立場として各種の教化施設に對する策がなければならぬ。或る場合に於ては處女會と離れ一般婦人又は一般人を對象として社會教化をなさねばならぬ使命もある。茲に至つて處女會は處女會のみ

の發達でなく町村教化機關の一部それは獨立した一部ではなく全體の一部として、其の本然の發達を遂ぐる事が出来るのである。

最近文部省に於て調査した所によると、本邦に於ては大體左の如き社會教化的施設が小學校を中心として行はれてゐると云ふことである。

◎ 全國小學校を通じて行へる主要なる社會教育的施設事項

- (1)、校地、校舎及び設備の開放利用
- (2)、圖書館、文庫、讀書會の開設
- (3)、補習教育施設
- (4)、講話會、講演會、講習會及び各種の會合
- (5)、印刷物配付、掲示板設置、展覽會、品評會、父兄會、母姊會等の開設
- (6)、青年會、處女會及び各種教化團體の劃策指導
- (7)、體育並に衛生思想の啓發
- (8)、兒童生徒の自治的訓練
- (9)、美風良俗の助長
- (10)、各種の宣傳
- (11)、娛樂の改善

(12)、學校教育の助勢的施設

(13)、兒童保護に關する施設

文部省普通學務局編纂「學校を中心とする社會教育の概況」參照

處女會が獨立して會員自治の實を擧ぐるに至つても、小學校は矢張處女會に對する指導の地位に在り其の便宜を供するの要衝にあると云ふことに變化はない。殊に今日の如き處女會創設の時代に於ては、寧ろ會と學校の連絡と云ふ以上に、學校を以て中心原動力とし其の指導策進の途を講ぜねばならぬ。云はば處女會の母であり保母であるものは小學校である。中等以上の學校に在つては町村處女會に對する關係も異なり、之に對しては便宜を與へると云ふ以上には出られない。併しながら現在の如き状態に甘んずる譯には行かない。

(四)、思想の覺醒より見たる處女會振興策

婦人に對する思想は舊來の如き状態に満足するを得ない。良妻賢母主義が女子教育の上に偉大なる勢力を有せなくなつたと同様に、女を一個の人として教育せねばならなくなつたのである。人として教育する又は取扱ふと云ふことは從來左様でなかつたと云ふ前提のもとに論ずるのであつて實は謂なきことである。女は人ではないと誰が斷定し得るものぞ。然れども此の運動は今日なほ婦人の口からも眞實に叫ばれてゐる。自分は前來述べた如く處女指導の方針は、處女をして其の生活の價値を發見し充實せしめ美化せしめようと云ふ主義であるが、決して女を人として取扱ふことに反對するものではない。寧ろ之は當然すぎる當然のことと信ずるのである。

併しながら「女は男に劣るものでなく異なつてゐる」と云ふ説に賛するものであつて、婦人をして男子と同様の形式の生活を理想として發憤せしむることを欲しない。只男子の從屬者に過ぎなかつた女をして、婦人の地位を理解し其の使命を體得し立派なる人格的存在を實現せしめたい。今日の社會に於ては *Half better* (よりよき半分) たる女の使命を覺らしめ根柢的に女子の奮起を促すの必要がある。然らずんば到底處女會婦人會等の發達をも期し得ない。女子の思想を從來の儘にして置いて文化的事業をやらせようと云ふのは、沐猴をして冠せしむる類である。かゝる状態に満足してゐれば、反動的に變態心理的の新しい女にかぶれて眞の自覺をなし得ないものも飛び出すかも知れない。夫れ故餘程進んだ所まで突き進んで女子の思想を啓發せねばならぬ。本書は思想の何たるを深く論ずるの餘裕がないから、之は他書に譲り、單に會員をして思想的に覺醒せしむる許りでなく進んで社會の思潮をも革正せねばならぬと云ふことを述べるにとゞめる。社會が公娼を認め女子の破貞を責めて男子の放縱を看過する様な時代に於ては夫れに相當した處女會が出来得ない。こんな時代に於て自治的な人格尊重の修養團體が出現せんことを望むのは望む方が無理である。廻りくどい様ではあるが、矢張思想的に覺醒せしめて處女會を振興せしむると云ふことが最も根柢的である。思想の革新は素より一町村や一郡市一府縣内に限つてやれるものではない。洋々たる大洋の波のやうなもので一波萬波を生ずると云ふ性質のものである。併し一村一邑内に於ても之を試みて益のないと云ふものではない。大河の水はよく一枚の板でせき止めることは出来ぬが棹させば涉り得るものであると同様に、思想の波も善導すれば其の勢を轉せしむることも出来ぬものではない。

◎全國處女會一覽表

(△△減)

| 道府縣 | 團體數 | | 正團員數 | | 經費 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 大正十二年度 | 大正十三年度 | 大正十二年度 | 大正十三年度 | |
| 北海道 | 三三三 | 三〇五 | 七,七〇〇 | 一三,五三三 | 一七,四〇〇 |
| 東京 | 五八 | 六六 | 七,三三三 | 八,〇五〇 | 四,八〇〇 |
| 京都 | 三九四 | 二九五 | 二五,二四三 | 三三,九六三 | 一九,三三三 |
| 大阪 | 六二 | 七二 | 八,七〇一 | 一一,七三三 | 八,三三三 |
| 神奈川 | 二二 | 二二 | 一五,〇七二 | 一六,八八二 | 三〇,〇〇〇 |
| 兵庫 | 一〇六 | 一〇六 | 一四,七七一 | 一四,七七一 | 一〇,〇〇〇 |
| 長崎 | 一九二 | 一九九 | 三三,七〇〇 | 三三,八三三 | 七,八三三 |
| 新潟 | 二〇 | 二六 | 二,七〇〇 | 二,九七三 | 六,八三三 |
| 埼玉 | 五九九 | 三七〇 | 四六,三三八 | 四六,六七六 | 二八,三〇〇 |
| 群馬 | 二〇九 | 二二二 | 二六,九三三 | 二七,九九九 | 一六,八三三 |
| 千葉 | 三三三 | 三六八 | 三,一三三 | 三,七八八 | 一七,三三三 |
| 茨城 | 三三三 | 三三三 | 二七,一七三 | 三〇,九九九 | 九,三三三 |
| 栃木 | 三三三 | 三三三 | 三三,六〇〇 | 三六,九三三 | 一五,三三三 |

| | | | | | | | | |
|----|-----|-----|---|--------|--------|---|--------|--------|
| 奈良 | 一九一 | 二二 | △ | 一八,七三三 | 一七,〇四八 | △ | 一七,二五 | 八,一三三 |
| 三重 | 三〇〇 | 三三三 | △ | 三三,三三三 | 三三,三三三 | △ | 三三,三三三 | 一〇,〇〇〇 |
| 愛知 | 二五五 | 二五九 | △ | 二八,三三八 | 三三,九七三 | △ | 三三,九七三 | 一四,三三三 |
| 靜岡 | 三三八 | 三三三 | △ | 三七,六一二 | 三五,七〇〇 | △ | 三五,七〇〇 | 三三,三三三 |
| 山梨 | 二二九 | 三三三 | △ | 二五,〇六八 | 三三,五九〇 | △ | 三三,五九〇 | 一五,〇〇〇 |
| 滋賀 | 一八〇 | 一八 | △ | 三〇,五九九 | 三三,四二二 | △ | 三三,四二二 | 一五,〇〇〇 |
| 岐阜 | 三〇〇 | 三三三 | △ | 三三,七〇八 | 三三,八七二 | △ | 三三,八七二 | 九,七〇〇 |
| 長野 | 二二 | 一八 | △ | 一九,九三三 | 一九,一九八 | △ | 一九,一九八 | 九,三三三 |
| 宮城 | 三三三 | 三三三 | △ | 一九,九三三 | 二二,一九四 | △ | 二二,一九四 | 一〇,九三七 |
| 福島 | 四一九 | 四三三 | △ | 三六,一九四 | 三三,六一八 | △ | 三三,六一八 | 三,九三三 |
| 岩手 | 三三三 | 二八 | △ | 一六,五〇三 | 一八,九三三 | △ | 一八,九三三 | 五,七二二 |
| 青森 | 五三三 | 四〇 | △ | 一七,八三三 | 一九,〇六三 | △ | 一九,〇六三 | 一〇,九三三 |
| 山形 | 二九九 | 三三三 | △ | 一九,七七八 | 二六,三三三 | △ | 二六,三三三 | 二,八三三 |
| 秋田 | 二五五 | 二六 | △ | 二〇,七三三 | 三三,二七三 | △ | 三三,二七三 | 七,三三三 |
| 福井 | 一八五 | 一九三 | △ | 一七,三三三 | 一六,九七六 | △ | 一六,九七六 | 二,〇〇〇 |
| 石川 | 三三三 | 三三 | △ | 二四,五〇三 | 二二,六六七 | △ | 二二,六六七 | 三,二二二 |

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|--------|--------|--------|------------|
| 富山 | 三〇三 | 三〇三 | 三〇 | 七〇,八七九 | 八三,三三〇 | 二三,四三二 | 二五,八八八,〇〇〇 |
| 鳥取 | 一八三 | 一九二 | 一〇 | 一三,一九五 | 一三,七七八 | 五八三 | 七,一五四〇〇 |
| 島根 | 三六四 | 三七八 | 一四 | 一七,七五八 | 一八,〇六三 | 二〇五 | 八,八七三,九〇〇 |
| 岡山 | 三三三 | 二七五 | 四 | 二四,四三三 | 二九,三七三 | 四,九一九 | 八,九〇〇,三〇〇 |
| 廣島 | 五七七 | 五一九 | 八 | 三五,〇四三 | 三五,五九一 | 一四九 | 二,八九七,八九六 |
| 山口 | 二六六 | 三〇八 | 三 | 二〇,一五〇 | 二二,三四三 | 一,一九三 | 九,三七〇,〇〇〇 |
| 和歌山 | 三三七 | 二八三 | 二五 | 三〇,五四八 | 四一,〇四三 | 一〇,四九四 | 一,四一三,〇一〇 |
| 徳島 | 一五九 | 一五三 | 六 | 一五,九九四 | 一七,五三三 | 一,二五八 | 九,六六〇,〇〇〇 |
| 香川 | 二〇〇 | 二〇〇 | 一 | 二二,五〇〇 | 二二,九五五 | 三九五 | 一三,三三三,八八六 |
| 愛媛 | 二七〇 | 二九三 | 三 | 二五,〇〇八 | 三〇,一六三 | 四,九五四 | 一三,七九三,〇〇〇 |
| 高知 | 九四 | 一〇六 | 二 | 七,四八七 | 七,〇九三 | 三九四 | 三,八三七,〇〇〇 |
| 福岡 | 三六六 | 三三九 | 三 | 四九,六〇〇 | 四九,〇四四 | △ | 三〇,三三三,〇〇〇 |
| 大分 | 二六八 | 二〇二 | 三 | 一八,九〇七 | 二五,九九四 | 七,〇〇七 | 九,三六八,〇〇〇 |
| 佐賀 | 一四七 | 一四八 | 二 | 二二,〇八六 | 二二,六八八 | 五五三 | 二〇,八九六,〇〇〇 |
| 熊本 | 三六〇 | 三五二 | 八 | 三八,八七六 | 三三,一三二 | 三,七五二 | 一七,八六二,〇〇〇 |
| 宮崎 | 二四 | 一四八 | 二四 | 九,二九三 | 二二,五九一 | 二〇六 | 三,五五八,〇〇〇 |

| | | | | | | | |
|-----|--------|--------|-----|-----------|-----------|---------|------------|
| 鹿兒島 | 三〇三 | 五九二 | 八八 | 三四,〇六六 | 三四,九六五 | 九〇九 | 三,二二〇,〇〇〇 |
| 沖繩 | 三九 | 四八 | 九 | 二二,七五五 | 一八,三九六 | 四,一四二 | 九,六〇〇,〇〇〇 |
| 合計 | 二一,二六六 | 二二,二二四 | 八〇三 | 一,一三三,六六七 | 一,一三六,三三三 | 一〇三,六八九 | 六九七,九六,五三三 |

大正十四年六月十八日 印刷
大正十四年六月廿一日 發行

定價金貳圓五拾錢

著者 片岡重助

發行者 株式會社興文社
東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

印刷所 東京市小石川區久堅町百八番地
堀專一

新及 時其 代其 之施 及 處設 女經 會營
著作權所有

發行所

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地
電話大東一八四四番
振替大東一八四四番

株式會社興文社

印刷所 株式會社興文社印刷所

終